

登米市の環境についての児童生徒アンケート調査 調査結果報告書

1 対象
市立小学校の第5学年の全児童及び中学校の第3学年の全生徒（令和7年度の学年）

2 調査期間
令和7年4月1日（火）から令和7年5月30日（金）まで
当初は、4月30日までとしたが、回答状況、学校行事等を考慮し延長した。

3 調査方法
調査は、すべてWEB回答方式（GoogleForms）により実施
(1) 回答フォームの周知
各校を通して、QRコード及びURLを対象児童生徒に周知
(2) 調査用紙の回収方法
各児童生徒が教育用タブレットPCで回答

4 調査項目
調査項目は全19項目（質問）とした。
回答方法については、問19のみ記述式、他はすべて選択式とした。

- 問1 あなたの学年を教えてください。
問2 あなたの性別を教えてください。
問3 「登米市の自然」といえば、あなたが一番大事だと思うものは次のうちどれですか。
問4 あなたは、次の言葉を知っていますか。
①生物多様性
②ラムサール条約
③地球温暖化
④気候変動
⑤カーボンニュートラル
⑥再生可能エネルギー
⑦酸性雨
⑧PM2.5
⑨循環型社会
⑩4R活動
問5 あなたは、自分の住んでいるところの自然がどのくらい豊かだと思いますか。
問6 あなたは、自分の住んでいるところがどのくらい発展していると思いますか。
問7 あなたは、自分の住んでいるところがどれくらい住みやすいと思いますか。
問8 あなたは、自分の住んでいるところの自然が将来どのようになってほしいと思いますか。
問9 あなたは、登米市がこれからはばらくの間、環境と開発どちらにより力を入れるべきだと思いますか。
問10 あなたは、ビルに囲まれた都会と自然豊かなところを比べたら、どちらの方が好きですか。
問11 あなたは、今の日本の社会（世の中）が環境にやさしい（配慮している）社会だと思いますか。
問12 あなたは、日ごろの生活で環境にやさしい（配慮している）方だと思いますか。
問13 あなたは、学校や自分の家で資源ごみを回収できるように、ほかのごみと分けて捨てていますか。
問14 あなたは、日ごろの生活でむだな電気や水道などをこまめに消したり、止めたりしていますか。
問15 あなたは、お店で買い物した時にわたされるレジぶくろをどうしていますか。
問16 あなたは、買い物の時、エコマークのついた商品など環境にやさしい商品を選んでいませんか。
問17 あなたは、環境のことを学ぶのが好きですか。
問18 あなたは、家族やともだちなどと一緒に、環境を守る活動に取り組んでみたいと思いますか。
問19 環境問題、環境行政に関してご意見やご要望がありましたらご記入ください。

登米市の環境についての児童生徒アンケート調査

【調査結果】

1 回収率

区分	今回調査 (令和7年度) (A)			前回調査 (平成26年度) (B)			比較 (A-B)	
	対象 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	対象 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	回収数 (人)	回収率 (%)
全体	1,172	933	79.6	1,484	1,422	95.8	▲ 489	▲ 16.2
小学校5年生	549	484	88.2	730	710	97.3	▲ 226	▲ 9.1
中学校3年生	623	449	72.1	754	712	94.4	▲ 263	▲ 22.4

2 学年・性別区分による回答率（問1～問2）

問1 あなたの学年を教えてください。

学年	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
小学校5年生	484	51.9	710	48.5	▲ 226	3.4
中学校3年生	449	48.1	754	51.5	▲ 305	▲ 3.4
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0

問2 あなたの性別を教えてください。

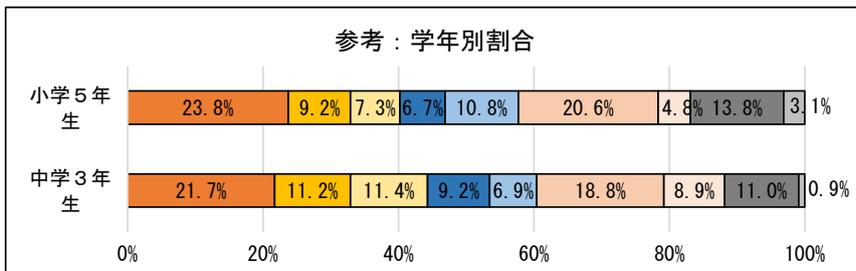
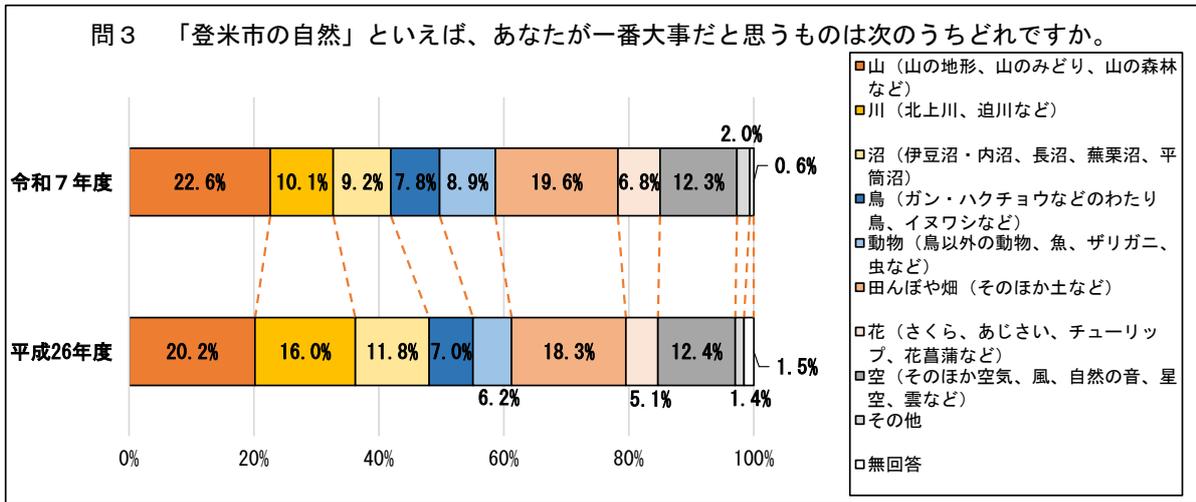
性別	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
男	478	51.2	737	51.8	▲ 259	▲ 0.6
女	447	47.9	674	47.4	▲ 227	0.5
その他	4	0.4	0	0.0	4	0.4
無回答	4	0.4	11	0.8	▲ 7	▲ 0.3

登米市の環境についての児童生徒アンケート調査

3 設問別の回答状況（問3～問18）

問3 「登米市の自然」といえば、あなたが一番大事だと思うものは次のうちどれですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
山（山の地形、山のみどり、山の森林など）	211	22.6	287	20.2	▲ 76	2.4
川（北上川、迫川など）	94	10.1	228	16.0	▲ 134	▲ 6.0
沼（伊豆沼・内沼、長沼、蕪栗沼、平筒沼）	86	9.2	168	11.8	▲ 82	▲ 2.6
鳥（ガン・ハクチョウなどのわたり鳥、イヌワシなど）	73	7.8	100	7.0	▲ 27	0.8
動物（鳥以外の動物、魚、ザリガニ、虫など）	83	8.9	88	6.2	▲ 5	2.7
田んぼや畑（そのほか土など）	183	19.6	260	18.3	▲ 77	1.3
花（さくら、あじさい、チューリップ、花菖蒲など）	63	6.8	73	5.1	▲ 10	1.6
空（そのほか空気、風、自然の音、星空、雲など）	115	12.3	176	12.4	▲ 61	▲ 0.1
その他	19	2.0	20	1.4	▲ 1	0.6
無回答	6	0.6	22	1.5	▲ 16	▲ 0.9



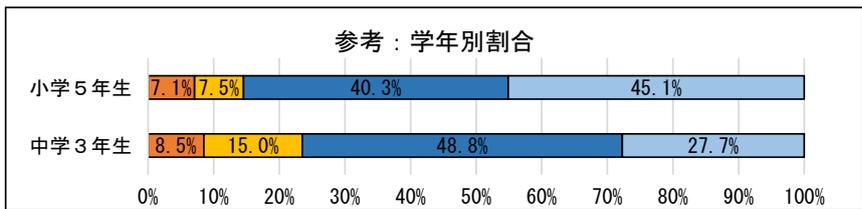
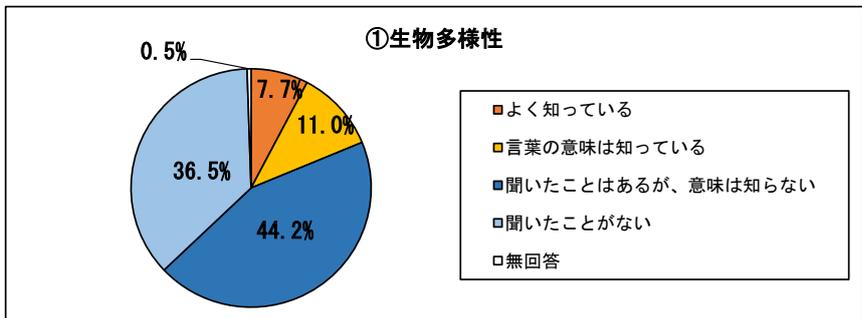
【調査結果の概要】

- ・「山」と回答した児童生徒が22.6%で最も多く、次に19.6%で「田んぼや畑」となっており、学年別割合でも同様の傾向となった。
- ・前回と比較して、「山」が2.4%、「鳥」が0.8%、「動物」が2.7%、「田んぼや畑」が1.3%、「花」が1.6%、それぞれ増加し、一方で、「川」が6.0%、「沼」が2.6%とそれぞれ減少したことで、水辺環境に係る回答の割合が減少した。
- ・その他では、主に「全部（選べない）」という回答であった。
- ・学年別では、「川」と「沼」の割合が、小学5年生よりも中学3年生で多かった。

問4 あなたは、次の言葉を知っていますか。

①生物多様性

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	72	103	412	341	5
(構成比(%))	(7.7)	(11.0)	(44.2)	(36.5)	(0.5)

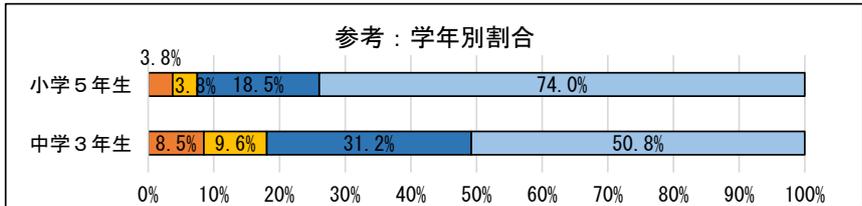
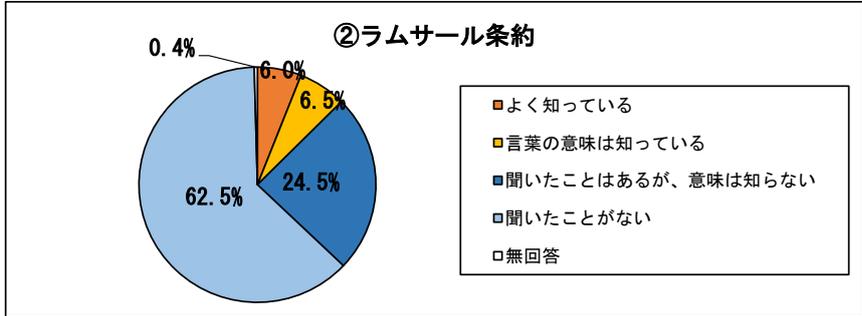


【調査結果の概要】

・「聞いたことはあるが、意味は知らない」が44.2%、「聞いたことがない」が36.5%となり、学年別でも同様の傾向となっていることから、認知度は低いという結果であった。
 ・学年別では、中学3年生で「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」の割合が20%以上であった。

②ラムサール条約

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	56	61	229	583	4
(構成比(%))	(6.0)	(6.5)	(24.5)	(62.5)	(0.4)

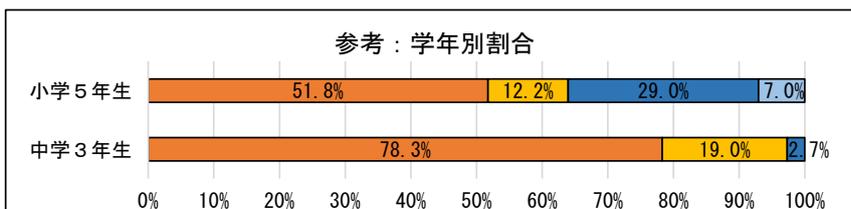
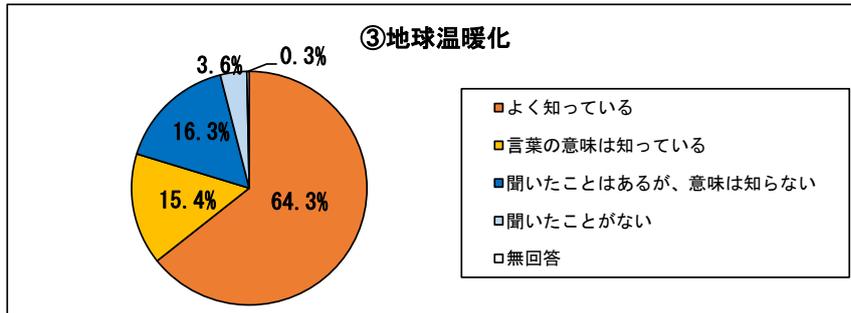


【調査結果の概要】

・「聞いたことがない」が62.5%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と合わせると87.0%となり、認知度は低かった。
 ・学年別では、「聞いたことがない」が、小学5年生で74.0%、中学3年生でも50%以上という結果であった。

③地球温暖化

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	600	144	152	34	3
(構成比(%))	(64.3)	(15.4)	(16.3)	(3.6)	(0.3)

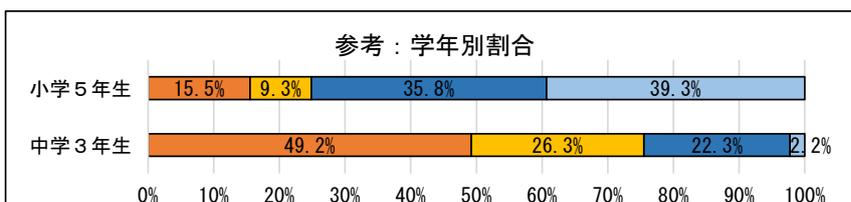
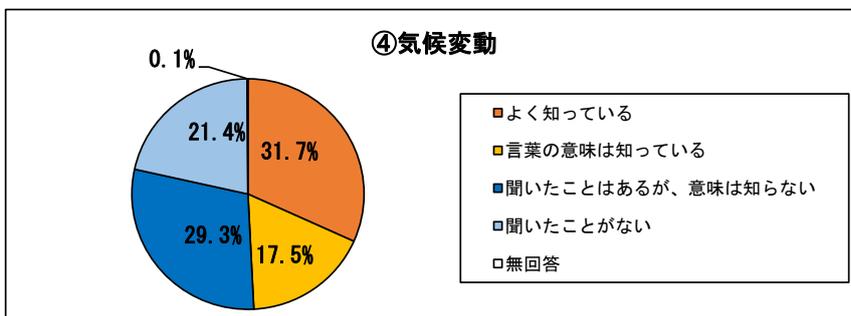


【調査結果の概要】

- ・「よく知っている」が64.3%で、学年別では小学5年生で51.8%、中学3年生で78.3%と、認知度はかなり高かった。
- ・中学3年生では、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」が97.3%となっており、小学5年生でも60%以上となっていることから、理解度も高く、社会的な関心度の高さが反映されていることも要因と考えられる。

④気候変動

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	296	163	273	200	1
(構成比(%))	(31.7)	(17.5)	(29.3)	(21.4)	(0.1)

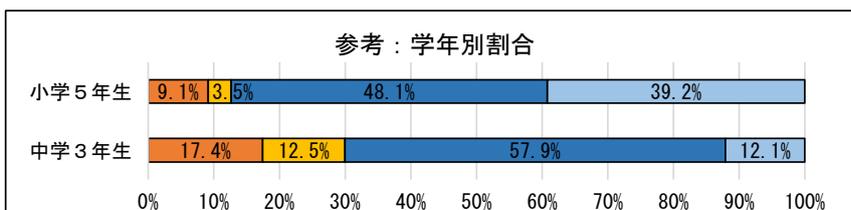
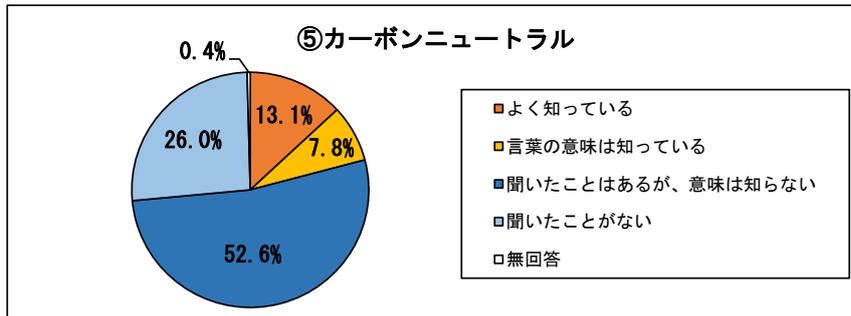


【調査結果の概要】

- ・「よく知っている」、「言葉の意味は知っている」が49.2%だが、学年別では小学5年生で24.8%、中学3年生で75.5%となり、学年別で大きな差があった。
- ・中学3年生で認知度・理解度が高くなっていることは学習段階に応じた結果と考えられる。

⑤カーボンニュートラル

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	122	73	491	243	4
(構成比(%))	(13.1)	(7.8)	(52.6)	(26.0)	(0.4)

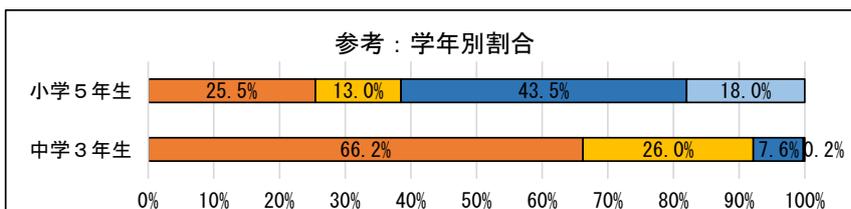
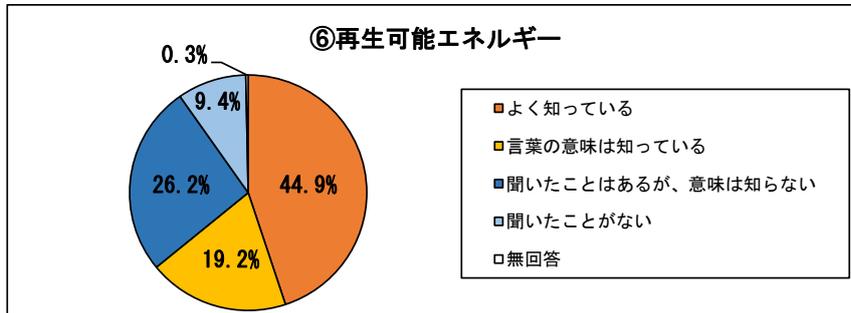


【調査結果の概要】

・「聞いたことはあるが、意味は知らない」、「聞いたことがない」が78.6%となり、学年別でも小学5年生で87.3%、中学3年生で70.0%と認知度は低かった。

⑥再生可能エネルギー

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	419	179	244	88	3
(構成比(%))	(44.9)	(19.2)	(26.2)	(9.4)	(0.3)

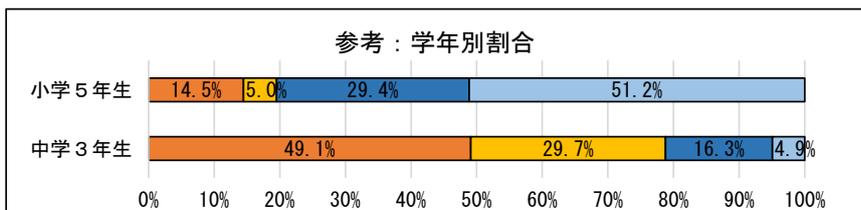
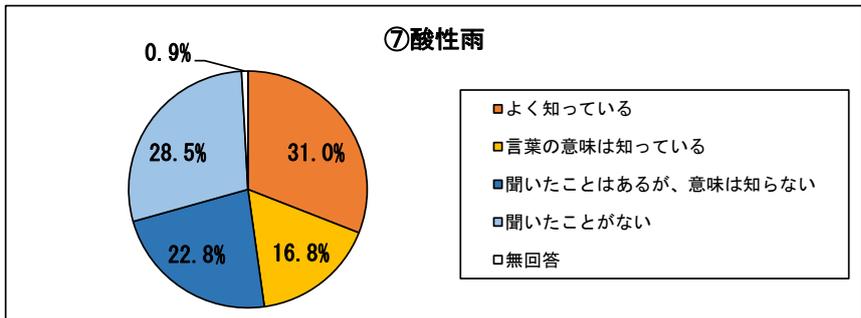


【調査結果の概要】

・「よく知っている」、「言葉の意味は知っている」が64.1%であったが、学年別では、小学5年生で38.5%、中学3年生で92.2%と、大きな差があった。
 ・中学3年生で認知度・理解度が高くなっていることは学習段階に応じた結果と考えられるとともに、地球温暖化と合わせて社会的な関心度の高さが反映されていると考えられる。

⑦酸性雨

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	289	157	213	266	8
(構成比(%))	(31.0)	(16.8)	(22.8)	(28.5)	(0.9)

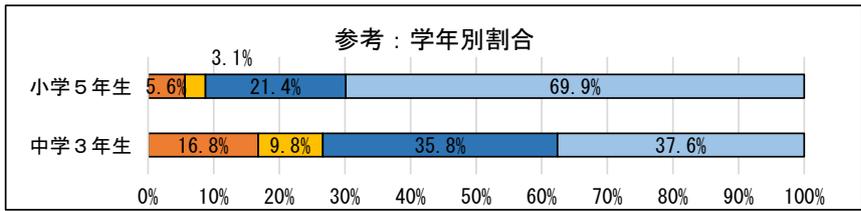
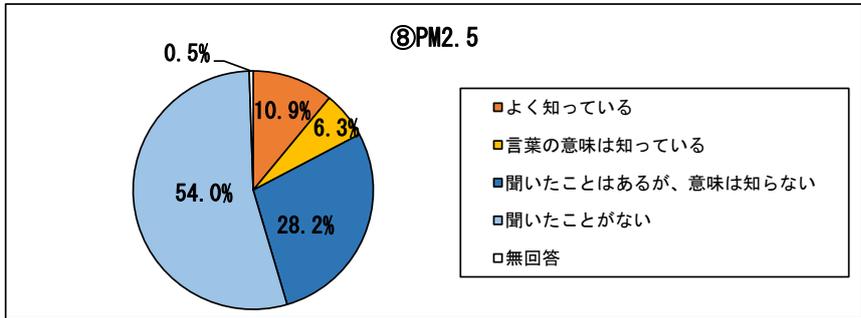


【調査結果の概要】

・「よく知っている」、「言葉の意味は知っている」が47.8%であったが、学年別では、小学5年生で19.5%、中学3年生で78.8%と、大きな差があった。
 ・中学3年生で認知度・理解度が高くなっていることは学習段階に応じた結果と考えられる。

⑧PM2.5

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	102	59	263	504	5
(構成比(%))	(10.9)	(6.3)	(28.2)	(54.0)	(0.5)

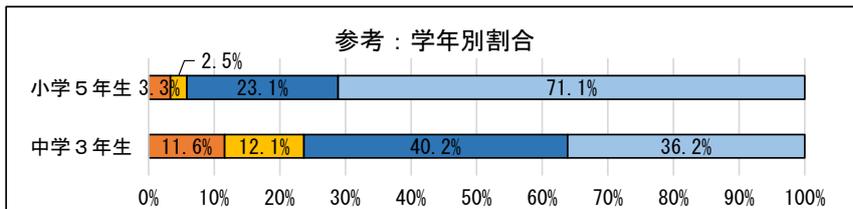
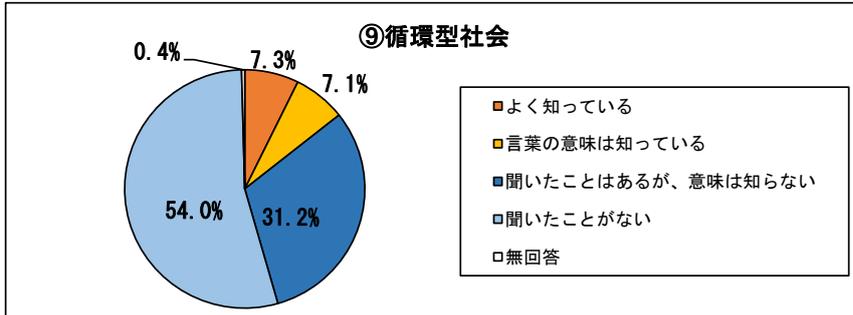


【調査結果の概要】

・「聞いたことがない」が54.0%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と合わせると82.2%となり、認知度は低かった。
 ・学年別では、「聞いたことがない」が、小学5年生で69.9%、中学3年生でも37.6%という結果であった。

⑨ 循環型社会

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	68	66	291	504	4
(構成比(%))	(7.3)	(7.1)	(31.2)	(54.0)	(0.4)

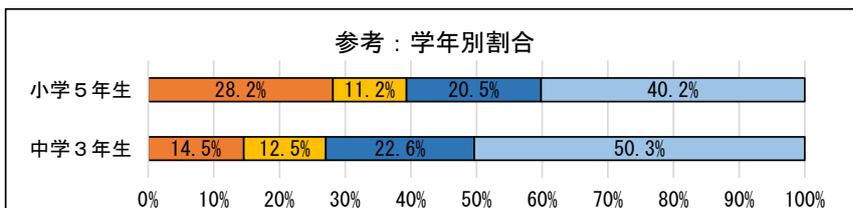
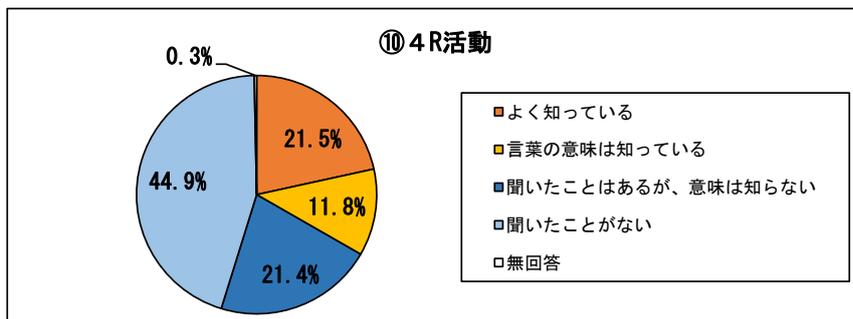


【調査結果の概要】

- ・「聞いたことがない」が54.0%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と合わせると85.2%となり、認知度は低かった。
- ・学年別では、「聞いたことがない」が、小学5年生で71.1%、中学3年生でも36.2%という結果であった。

⑩ 4R活動

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	201	110	200	419	3
(構成比(%))	(21.5)	(11.8)	(21.4)	(44.9)	(0.3)

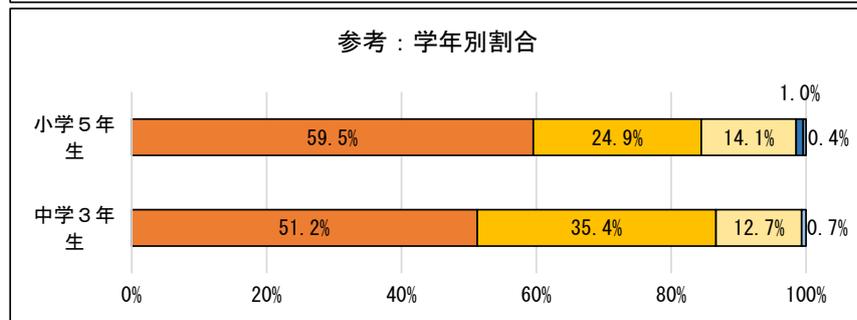
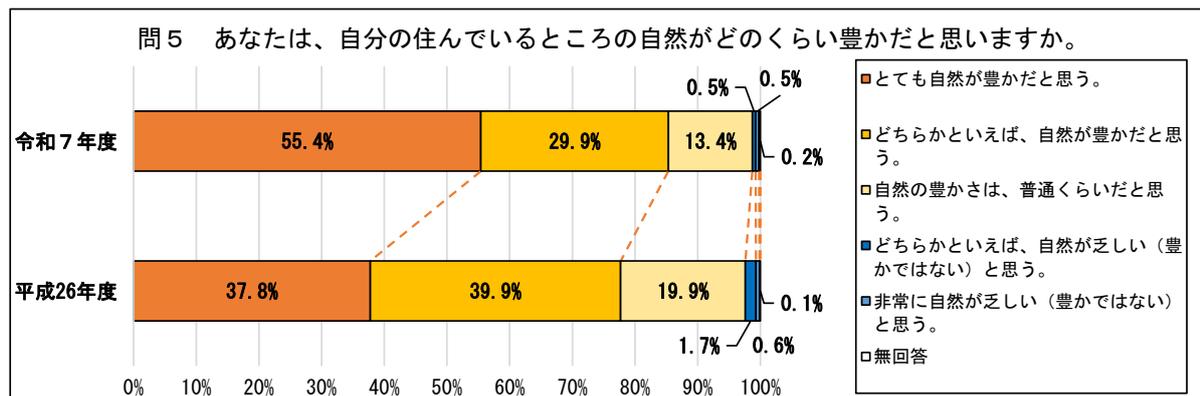


【調査結果の概要】

- ・「聞いたことがない」が44.9%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と合わせると66.3%となり、認知度は低かった。
- ・学年別で、「よく知っている」が、小学5年生で28.2%、中学3年生でも14.5%となり、小学5年生の方が認知度、理解度が高いという結果であった。

問5 あなたは、自分の住んでいるところの自然がどのくらい豊かだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても自然が豊かだと思う。	517	55.4	537	37.8	▲ 20	17.6
どちらかといえば、自然が豊かだと思う。	279	29.9	568	39.9	▲ 289	▲ 10.0
自然の豊かさは、普通くらいだと思う。	125	13.4	283	19.9	▲ 158	▲ 6.5
どちらかといえば、自然が乏しい（豊かではない）と思う。	5	0.5	24	1.7	▲ 19	▲ 1.2
非常に自然が乏しい（豊かではない）と思う。	5	0.5	8	0.6	▲ 3	▲ 0.0
無回答	2	0.2	2	0.1	0	0.1

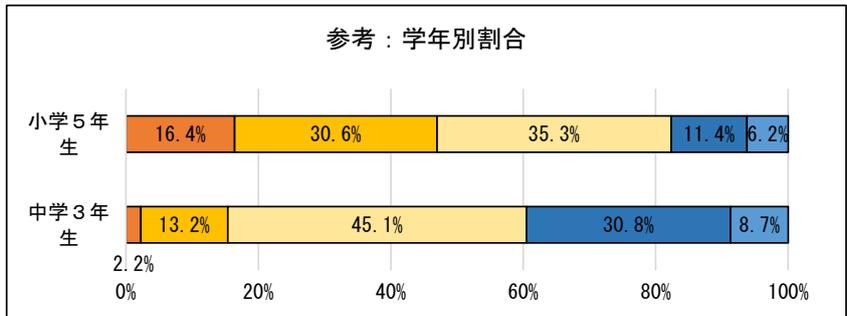
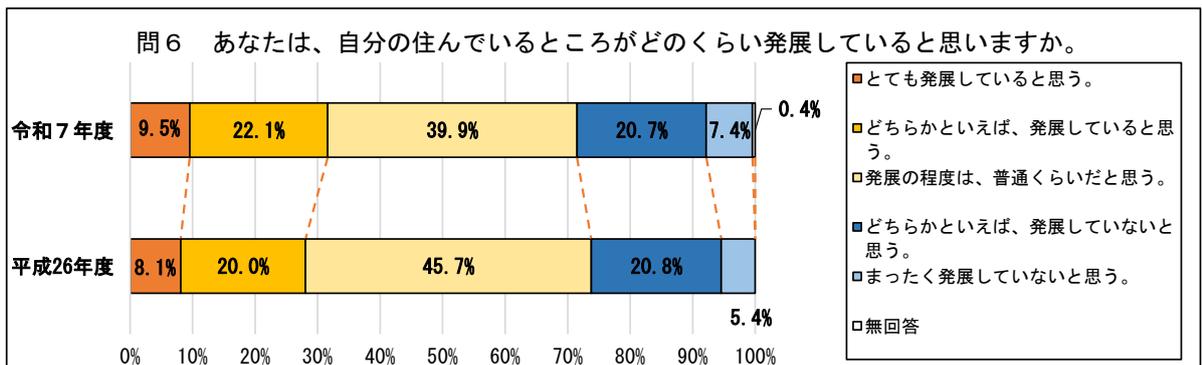


【調査結果の概要】

- ・「とても自然が豊かだと思う」の割合が55.4%で最も多く、次に「どちらかといえば、自然が豊かだと思う」の割合が29.9%であった。
- ・前回と比較して、「とても自然が豊かだと思う」の割合が17.6%増加し、「どちらかといえば、自然が豊かだと思う」の割合は10.0%減少したものの、それら2つを合わせた割合は85.3%となり、7.6%増加した。
- ・全体として、「とても自然が豊かだと思う」割合が増加した。
- ・学年別では、「とても自然が豊かだと思う」の割合が、小学5年生で59.5%、中学3年生で51.2%となり、「どちらかといえば、自然が豊かだと思う」の割合を合わせると、小学5年生で84.4%、中学3年生で86.6%であった。

問6 あなたは、自分の住んでいるところがどのくらい発展していると思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても発展していると思う。	89	9.5	115	8.1	▲ 26	1.5
どちらかといえば、発展していると思う。	206	22.1	284	20.0	▲ 78	2.1
発展の程度は、普通くらいだと思う。	372	39.9	650	45.7	▲ 278	▲ 5.8
どちらかといえば、発展していないと思う。	193	20.7	296	20.8	▲ 103	▲ 0.1
まったく発展していないと思う。	69	7.4	77	5.4	▲ 8	2.0
無回答	4	0.4	0	0.0	4	0.4

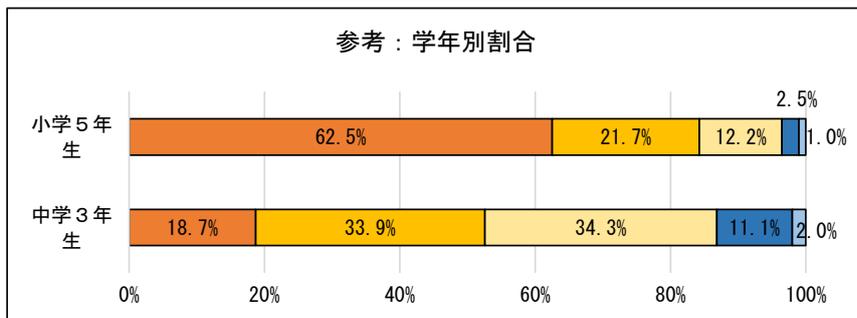
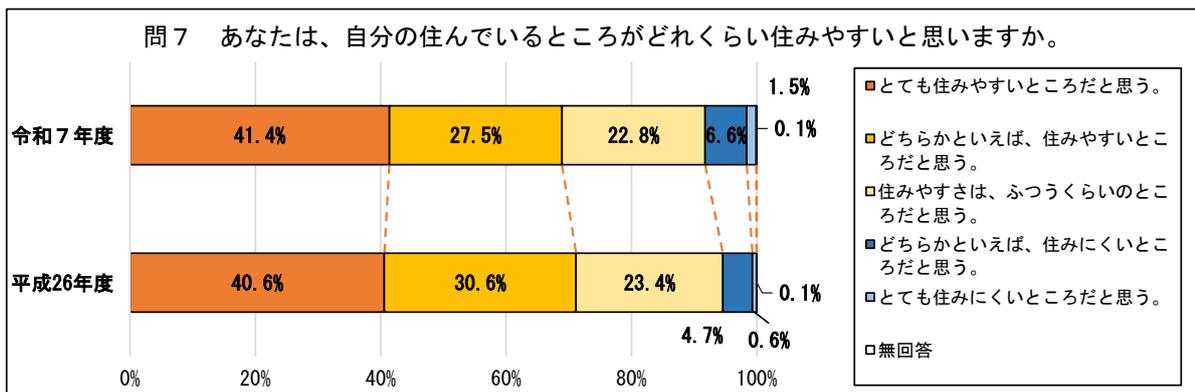


【調査結果の概要】

- ・「発展の程度は、普通くらいだと思う」の割合が39.9%と最も多かった。
- ・前回と比較して、「発展の程度は、普通くらいだと思う」の割合が5.8%減少した反面、「とても発展していると思う」が1.5%、「どちらかといえば、発展していると思う」が2.1%、「まったく発展していないと思う」が2.0%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回と同様の傾向ではあるものの、「発展の程度は、普通くらいだと思う」の割合が減少し、「発展していると思う」と「どちらかといえば、発展していると思う」を合わせた発展していると思う割合と、「発展していないと思う」と「どちらかといえば、発展していないと思う」を合わせた発展していないと思う割合が、それぞれ増加した。
- ・学年別では、いずれも「発展の程度は、普通くらいだと思う」の割合が多く、小学5年生では「とても発展していると思う」、「どちらかといえば、発展していると思う」の割合が多かったが、中学3年生では「どちらかといえば、発展していないと思う」、「まったく発展していないと思う」の割合が多くなっており、回答の傾向に差があった。

問7 あなたは、自分の住んでいるところがどれくらい住みやすいと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても住みやすいところだと思う。	386	41.4	577	40.6	▲ 191	0.8
どちらかといえば、住みやすいところ だと思う。	257	27.5	435	30.6	▲ 178	▲ 3.0
住みやすさは、ふつうくらいのところ だと思う。	213	22.8	333	23.4	▲ 120	▲ 0.6
どちらかといえば、住みにくいところ だと思う。	62	6.6	67	4.7	▲ 5	1.9
とても住みにくいところだと思う。	14	1.5	9	0.6	5	0.9
無回答	1	0.1	1	0.1	0	0.0

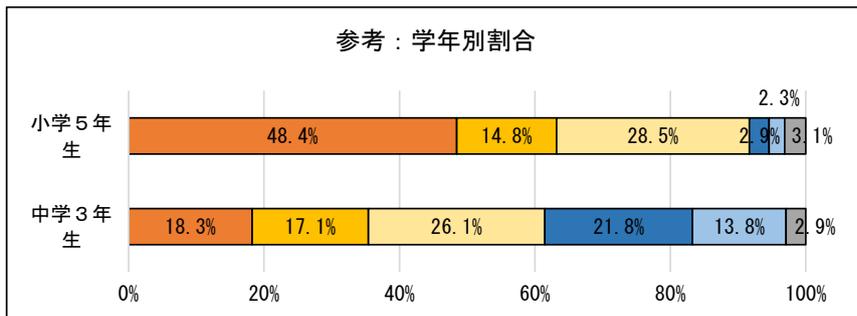
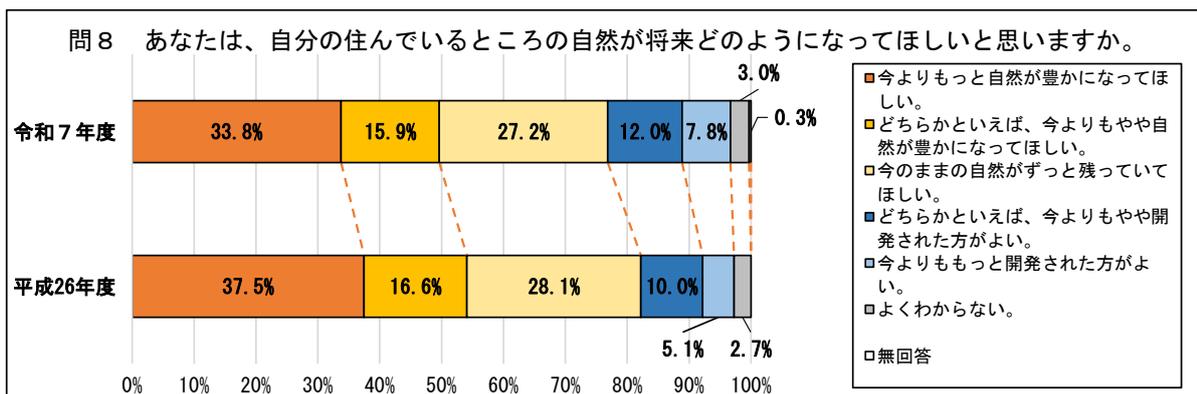


【調査結果の概要】

- ・「とても住みやすいところだと思う」の割合が41.4%で最も多く、次に「どちらかといえば、住みやすいところだと思う」の割合が27.5%となり、「住みやすい」と思う割合が多かった。
- ・前回と比較して、「とても住みやすいところだと思う」が0.8%増加したが、「どちらかといえば、住みやすいところだと思う」が3.0%減少した反面、「どちらかといえば、住みにくいところだと思う」が1.9%、「とても住みにくいところだと思う」が0.8%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回よりも「とても住みやすいところだと思う」の割合は増加したが、「どちらかといえば、住みやすいところだと思う」と合わせた住みやすいと思う割合は減少し、「どちらかといえば、住みにくいところだと思う」と「とても住みにくいところだと思う」を合わせた住みにくいと思う割合が増加した。
- ・学年別では、小学5年生で「とても住みやすいところだと思う」の割合が62.5%と最も多かったが、中学3年生では「住みやすさは、ふつうくらいのところだと思う」が34.3%で最も多く、「とても住みやすいところだと思う」の割合は増加したが、「どちらかといえば、住みやすいところだと思う」を合わせた割合は52.6%となり、「どちらかといえば、住みにくいところだと思う」の割合は11.1%であった。

問8 あなたは、自分の住んでいるところの自然が将来どのようになってほしいと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
今よりもっと自然が豊かになってほしい。	315	33.8	533	37.5	▲ 218	▲ 3.7
どちらかといえば、今よりもやや自然が豊かになってほしい。	148	15.9	236	16.6	▲ 88	▲ 0.7
今のままの自然がずっと残っていてほしい。	254	27.2	400	28.1	▲ 146	▲ 0.9
どちらかといえば、今よりもやや開発された方がよい。	112	12.0	142	10.0	▲ 30	2.0
今よりももっと開発された方がよい。	73	7.8	72	5.1	1	2.8
よくわからない。	28	3.0	39	2.7	▲ 11	0.3
無回答	3	0.3	0	0.0	3	0.3

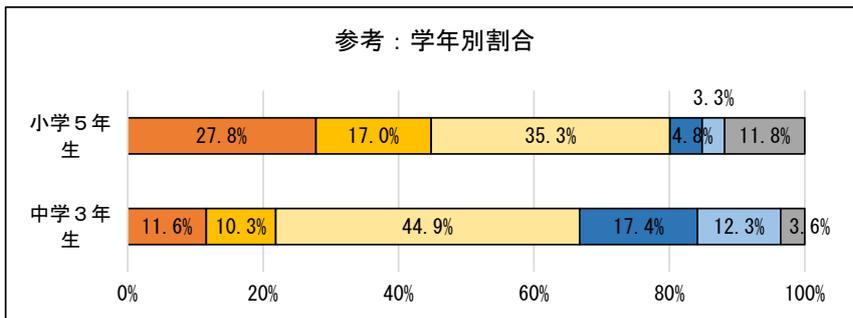
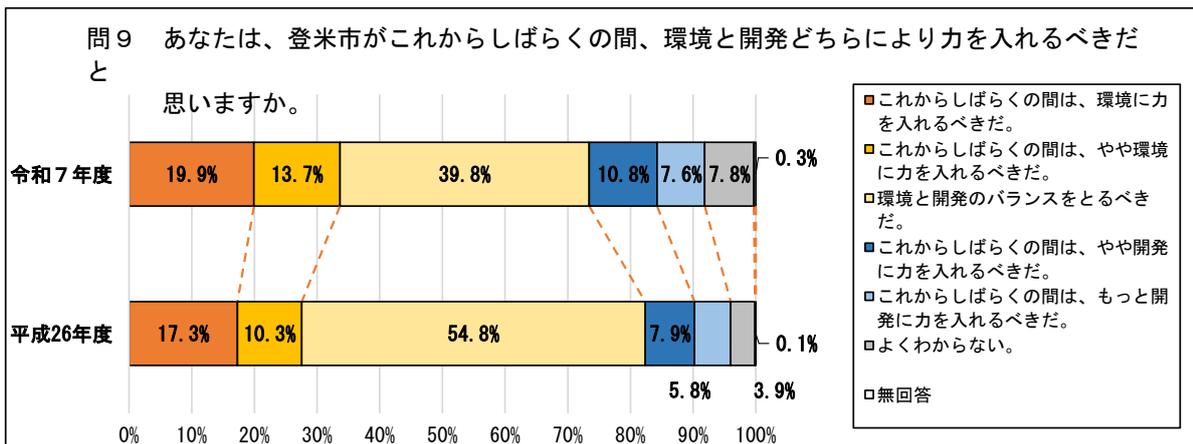


【調査結果の概要】

- ・「今よりもっと自然が豊かになってほしい」の割合が33.8%で最も多く、次に「今のままの自然がずっと残っていてほしい」の割合が27.2%が多かった。
- ・前回と比較して、「今よりもっと自然が豊かになってほしい」が3.7%、「どちらかといえば、今よりもやや自然が豊かになってほしい」が0.7%、「今のままの自然がずっと残っていてほしい」が0.9%、それぞれ減少した反面、「どちらかといえば、今よりもやや開発された方がよい」が2.0%、「今よりもっと開発された方がよい」が2.8%、それぞれ増加した
- ・全体としては、「今よりもっと自然が豊かになってほしい」の割合が最も多かったが、前回よりも減少し、「どちらかといえば、今よりもやや自然が豊かになってほしい」の割合も減少した一方で、「どちらかといえば、今よりもやや開発された方がよい」と「今よりもっと開発された方がよい」の割合が、それぞれ増加した。
- ・学年別では、小学5年生では「今よりもっと自然が豊かになってほしい」の割合が48.4%で最も多かったが、中学3年生では「今のままの自然がずっと残っていてほしい」が26.1%で最も多く、「今よりもっと自然が豊かになってほしい」と「どちらかといえば、今よりもやや自然が豊かになってほしい」を合わせた割合が35.4%、「どちらかといえば、今よりもやや開発された方がよい」と「自然が豊かになってほしい」と思う割合と「開発されたほうがよい」と「今よりもっと開発された方がよい」を合わせた割合が35.6%と同程度となっており、回答の傾向に差があった。

問9 あなたは、登米市がこれからしばらくの間、環境と開発どちらにより力を入れるべきだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
これからしばらくの間は、環境に力を入れるべきだ。	186	19.9	246	17.3	▲ 60	2.6
これからしばらくの間は、やや環境に力を入れるべきだ。	128	13.7	146	10.3	▲ 18	3.5
環境と開発のバランスをとるべきだ。	371	39.8	779	54.8	▲ 408	▲ 15.0
これからしばらくの間は、やや開発に力を入れるべきだ。	101	10.8	112	7.9	▲ 11	2.9
これからしばらくの間は、もっと開発に力を入れるべきだ。	71	7.6	82	5.8	▲ 11	1.8
よくわからない。	73	7.8	55	3.9	18	4.0
無回答	3	0.3	2	0.1	1	0.2

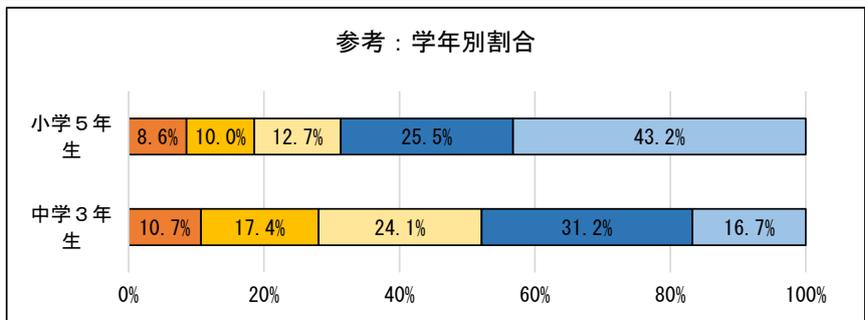
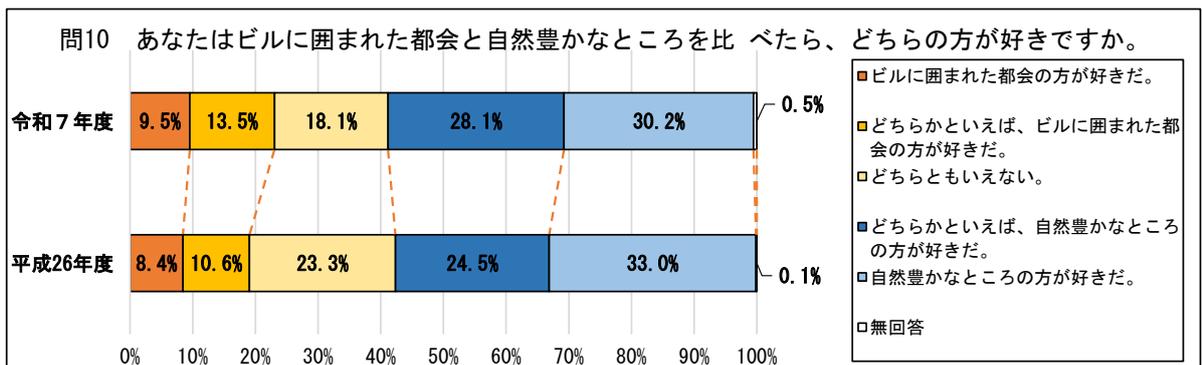


【調査結果の概要】

- ・「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が39.8%で最も多く、次に「これからしばらくの間は、環境に力を入れるべきだ」の割合が19.9%で多かった。
- ・前回と比較して、「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が15.0%減少し、一方で、「これからしばらくの間は、環境に力を入れるべきだ」が2.6%、「これからしばらくの間は、やや環境に力を入れるべきだ」が3.5%、「これからしばらくの間は、やや開発に力を入れるべきだ」が2.9%、「これからしばらくの間は、もっと開発に力を入れるべきだ」が1.8%。それぞれ増加した。
- ・全体としては、「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が最も多かったが、その割合は前回よりも減少した一方で、「これからしばらくの間は、環境に力を入れるべきだ」と「これからしばらくの間は、やや環境に力を入れるべきだ」の環境に力を入れるべきだの割合と、「これからしばらくの間は、やや開発に力を入れるべきだ」と「これからしばらくの間は、もっと開発に力を入れるべきだ」の開発に力を入れるべきだの割合がいずれも増加した。
- ・学年別では、いずれの学年でも「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が多かったものの、小学5年生では「環境に力を入れるべきだ」の割合が多く、中学3年生では「開発に力を入れるべきだ」の割合が多くなっており、回答の傾向に差があった。

問10 あなたはビルに囲まれた都会と自然豊かなところを比べたら、どちらの方が好きですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
ビルに囲まれた都会の方が好きだ。	89	9.5	120	8.4	▲ 31	1.1
どちらかといえば、ビルに囲まれた都会の方が好きだ。	126	13.5	151	10.6	▲ 25	2.9
どちらともいえない。	169	18.1	331	23.3	▲ 162	▲ 5.2
どちらかといえば、自然豊かなところの方が好きだ。	262	28.1	349	24.5	▲ 87	3.5
自然豊かなところの方が好きだ。	282	30.2	469	33.0	▲ 187	▲ 2.8
無回答	5	0.5	2	0.1	3	0.4

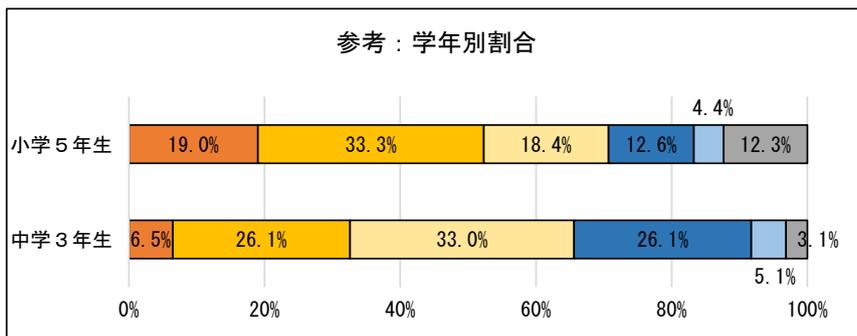
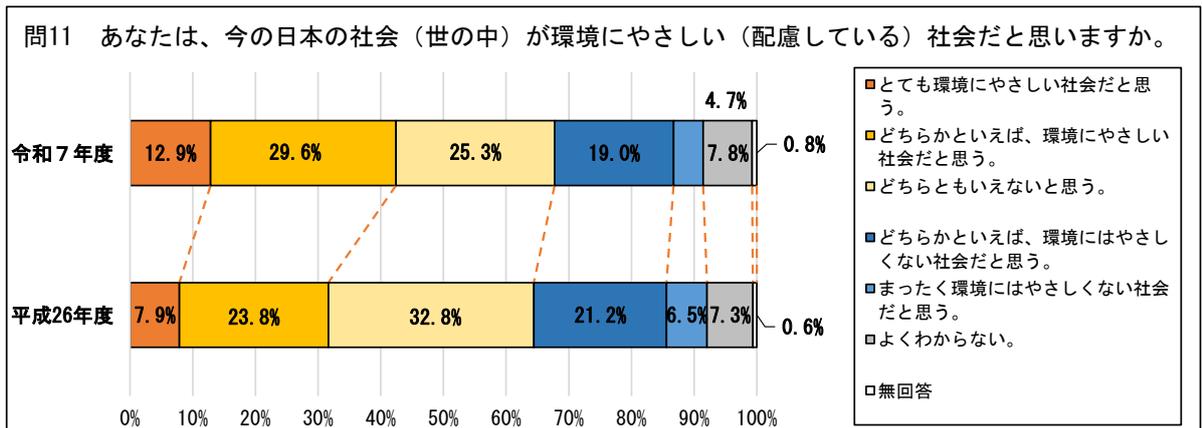


【調査結果の概要】

- ・「自然豊かなところの方が好きだ」の割合が30.2%で最も多く、次に「どちらかといえば、自然豊かなところの方が好きだ」の割合が28.1%で多かった。
- ・前回と比較して、「どちらともいえない」が5.2%、「自然豊かなところの方が好きだ」が2.8%、それぞれ減少し、一方で「ビルに囲まれた都会の方が好きだ」が1.1%、「どちらかといえば、ビルに囲まれた都会の方が好きだ」が2.9%、「どちらかといえば、自然豊かなところの方が好きだ」が3.5%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「自然豊かなところの方が好きだ」と「どちらかといえば、自然豊かなところの方が好きだ」を合わせた割合が多く、前回よりも増加しているが、「ビルに囲まれた都会の方が好きだ」と「どちらかといえば、ビルに囲まれた都会の方が好きだ」の割合もそれぞれ増加した。
- ・学年別では、小学5年生では「自然豊かなところの方が好きだ」の割合が43.2%で最も多く、中学3年生では「どちらかといえば、自然豊かなところの方が好きだ」の割合が31.2%で最も多く、「自然豊かなところの方が好きだ」よりも「どちらかといえば、ビルに囲まれた都会の方が好きだ」の割合が多かった。

問11 あなたは、今の日本の社会（世の中）が環境にやさしい（配慮している）社会だと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても環境にやさしい社会だと思う。	120	12.9	112	7.9	8	5.0
どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う。	276	29.6	338	23.8	▲ 62	5.8
どちらともいえないと思う。	236	25.3	466	32.8	▲ 230	▲ 7.5
どちらかといえば、環境にはやさしくない社会だと思う。	177	19.0	301	21.2	▲ 124	▲ 2.2
まったく環境にはやさしくない社会だと思う。	44	4.7	92	6.5	▲ 48	▲ 1.8
よくわからない。	73	7.8	104	7.3	▲ 31	0.5
無回答	7	0.8	9	0.6	▲ 2	0.1



【調査結果の概要】

・「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」の割合が29.6%で最も多く、次に「どちらともいえないと思う」の割合が25.3%が多かった。

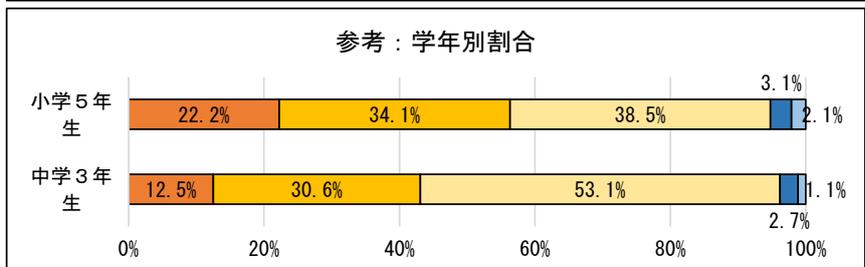
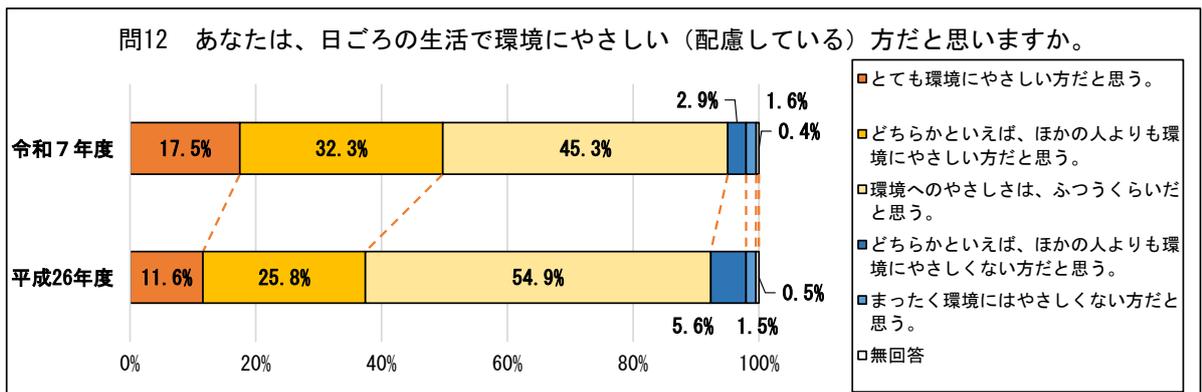
・前回と比較して、「とても環境にやさしい社会だと思う」が5.0%、「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」が5.2%、それぞれ増加し、一方で「どちらともいえないと思う」が7.5%、「どちらかといえば、環境にはやさしくない社会だと思う」が2.2%、「まったく環境にはやさしくない社会だと思う」が1.8%、それぞれ減少した。

・全体としては、「とても環境にやさしい社会だと思う」と「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」を合わせた割合が、前回よりも増加した。

・学年別では、小学5年生では「とても環境にやさしい社会だと思う」と「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」の割合が52.3%であったが、中学3年生では「とても環境にやさしい社会だと思う」と「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」を合わせた割合が32.6%、「どちらかといえば、環境にはやさしくない社会だと思う」と「まったく環境にはやさしくない社会だと思う」を合わせた割合が31.2%で同程度となり、回答の傾向に差があった。

問12 あなたは、日ごろの生活で環境にやさしい（配慮している）方だと思いませんか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても環境にやさしい方だと思う。	163	17.5	165	11.6	▲ 2	5.9
どちらかといえば、ほかの人よりも環境にやさしい方だと思う。	301	32.3	367	25.8	▲ 66	6.5
環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思う。	423	45.3	781	54.9	▲ 358	▲ 9.6
どちらかといえば、ほかの人よりも環境にやさしくない方だと思う。	27	2.9	80	5.6	▲ 53	▲ 2.7
まったく環境にはやさしくない方だと思う。	15	1.6	22	1.5	▲ 7	0.1
無回答	4	0.4	7	0.5	▲ 3	▲ 0.1



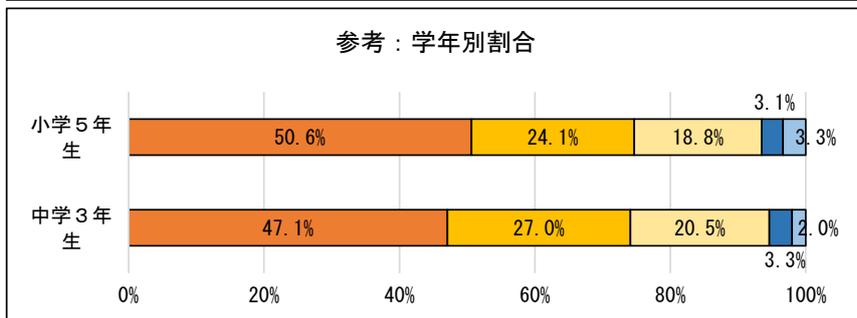
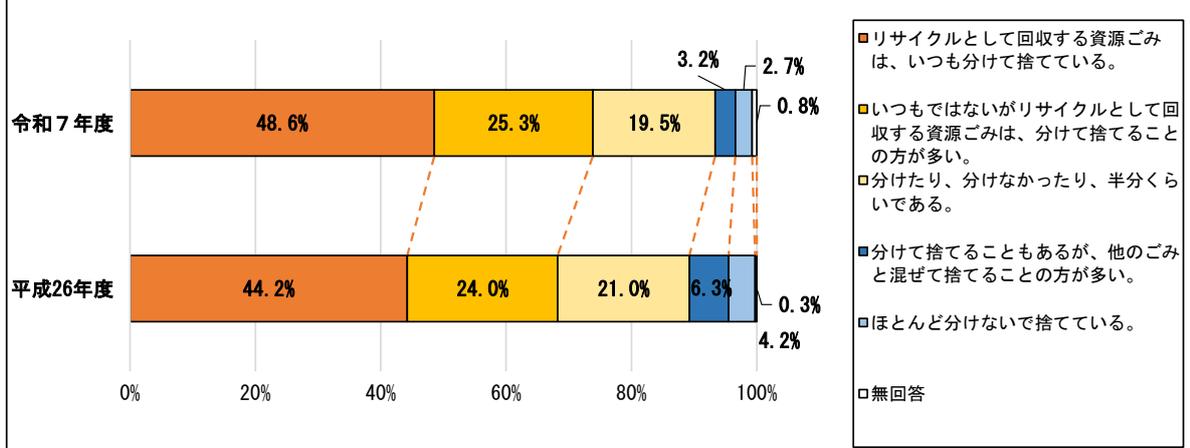
【調査結果の概要】

- ・「環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思う」の割合が45.3%で最も多く、続いて、「どちらかといえば、ほかの人よりも環境にやさしい方だと思う」が32.3%、「とても環境にやさしい方だと思う」が17.5%であった。
- ・前回と比較して、「とても環境にやさしい方だと思う」が5.9%、「どちらかといえば、ほかの人よりも環境にやさしい方だと思う」が6.5%、それぞれ増加し、一方で「環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思う」が9.6%、「どちらかといえば、ほかの人よりも環境にやさしくない方だと思う」が2.7%、それぞれ減少した。
- ・全体としては、前回より「環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思う」の割合が減少し、「とても環境にやさしい方だと思う」と「どちらかといえば、ほかの人よりも環境にやさしい方だと思う」の割合が増加した。
- ・学年別では、小学5年生では「とても環境にやさしい社会だと思う」と「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」を合わせた割合が52.3%だったが、中学3年生では43.1%であり、「とても環境にやさしい社会だと思う」と「どちらかといえば、環境にやさしい社会だと思う」の割合が32.6%、「環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思う」が53.1%であった。

問13 あなたは、学校や自分の家で資源ごみを回収できるように、ほかのごみと分けて捨てていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けて捨てている。	453	48.6	629	44.2	-176	4.3
いつもではないがリサイクルとして回収する資源ごみは、分けて捨てることの方が多い。	236	25.3	341	24.0	-105	1.3
分けたり、分けなかったり、半分くらいである。	182	19.5	299	21.0	-117	▲ 1.5
分けて捨てることもあるが、他のごみと混ぜて捨てることの方が多い。	30	3.2	89	6.3	-59	▲ 3.0
ほとんど分けずに捨てている。	25	2.7	60	4.2	-35	▲ 1.5
無回答	7	0.8	4	0.3	3	0.5

問13 あなたは、学校や自分の家で資源ごみを回収できるように、ほかのごみと分けて捨てていますか。



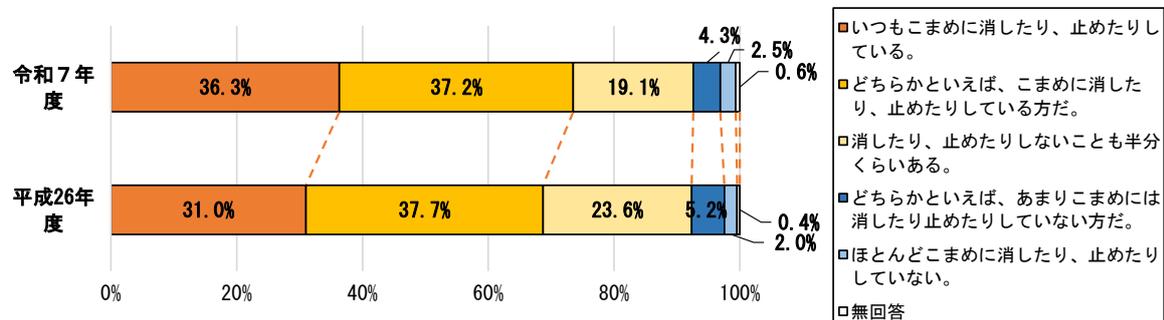
【調査結果の概要】

- ・「リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けて捨てている」の割合が48.6%で最も多く、続いて、「いつもではないがリサイクルとして回収する資源ごみは、分けて捨てることの方が多い」が25.3%となり、合わせると73.9%であった。
- ・前回と比較して、「リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けて捨てている」が4.3%、「いつもではないがリサイクルとして回収する資源ごみは、分けて捨てることの方が多い」が1.3%、それぞれ増加し、一方で「分けたり、分けなかったり、半分くらいである」が1.5%、「分けて捨てることもあるが、他のごみと混ぜて捨てることの方が多い」が3.0%、「ほとんど分けずに捨てている」が1.5%、それぞれ減少した。
- ・全体としては、前回より「リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けて捨てている」と「いつもではないがリサイクルとして回収する資源ごみは、分けて捨てることの方が多い」の割合が増加した。
- ・学年別では、全体と学年別の結果にほとんど差はなかった。

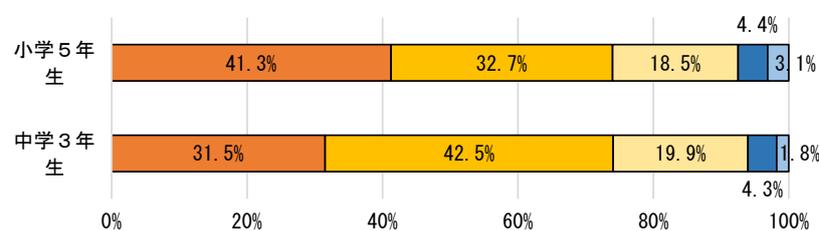
問14 あなたは、日ごろの生活でむだな電気や水道などをこまめに消したり、止めたりしていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
いつもこまめに消したり、止めたりしている。	339	36.3	441	31.0	▲ 102	5.3
どちらかといえば、こまめに消したり、止めたりしている方だ。	347	37.2	536	37.7	▲ 189	▲ 0.5
消したり、止めたりしないことも半分くらいある。	178	19.1	336	23.6	▲ 158	▲ 4.6
どちらかといえば、あまりこまめには消したり止めたりしていない方だ。	40	4.3	74	5.2	▲ 34	▲ 0.9
ほとんどこまめに消したり、止めたりしていない。	23	2.5	29	2.0	▲ 6	0.4
無回答	6	0.6	6	0.4	0	0.2

問14 あなたは、日ごろの生活でむだな電気や水道などをこまめに消したり、止めたりしていますか。



参考：学年別割合

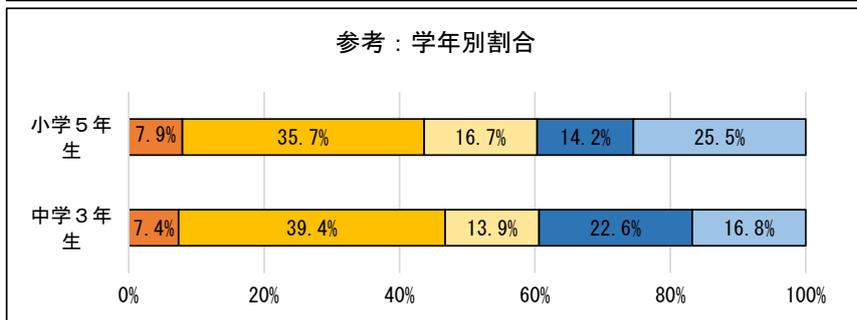
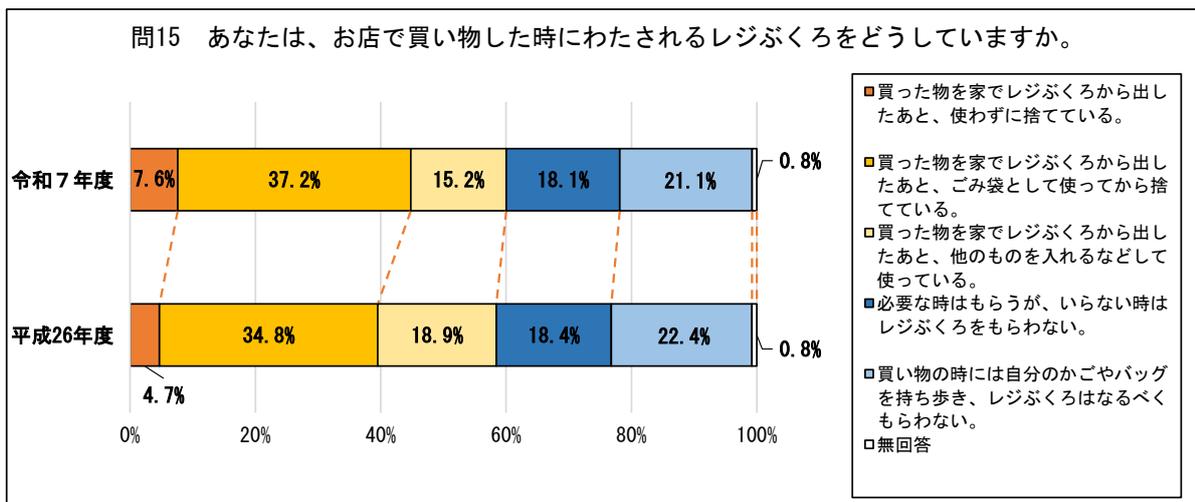


【調査結果の概要】

- ・「どちらかといえば、こまめに消したり、止めたりしている方だ」の割合が37.2%で最も多く、続いて、「いつもこまめに消したり、止めたりしている」が36.3%となり、合わせると73.5%であった。
- ・前回と比較して、「いつもこまめに消したり、止めたりしている」が5.3%増加し、「どちらかといえば、こまめに消したり、止めたりしている方だ」が0.5%、「消したり、止めたりしないことも半分くらいある」が4.6%、「どちらかといえば、あまりこまめには消したり止めたりしていない方だ」が0.9%、それぞれ減少した。
- ・全体としては、前回より「どちらかといえば、こまめに消したり、止めたりしている方だ」と「いつもこまめに消したり、止めたりしている」を合わせた割合が増加した。
- ・学年別では、全体と学年別の結果にほとんど差はなかった。

問15 あなたは、お店で買い物した時にわたされるレジぶくろをどうしていますか。

回答項目	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
買った物を家でレジぶくろから出したあと、使わずに捨てている。	71	7.6	67	4.7	4	2.9
買った物を家でレジぶくろから出したあと、ごみ袋として使ってから捨てている。	347	37.2	495	34.8	▲ 148	2.4
買った物を家でレジぶくろから出したあと、他のものを入れるなどして使っている。	142	15.2	269	18.9	▲ 127	▲ 3.7
必要な時はもらうが、いらぬ時はレジぶくろをもらわない。	169	18.1	261	18.4	▲ 92	▲ 0.2
買い物の時には自分のかごやバッグを持ち歩き、レジぶくろはなるべくもらわない。	197	21.1	319	22.4	▲ 122	▲ 1.3
無回答	7	0.8	11	0.8	▲ 4	▲ 0.0

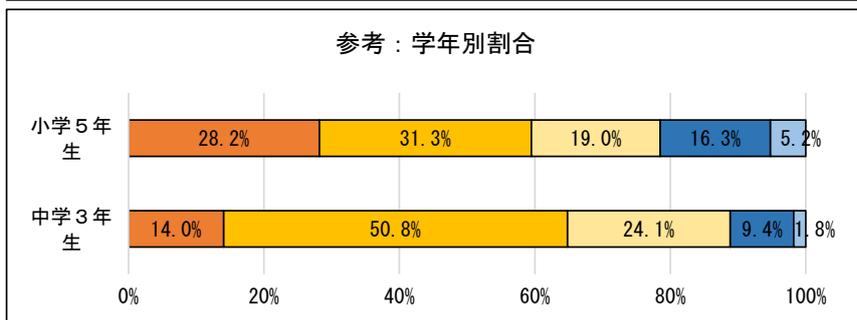
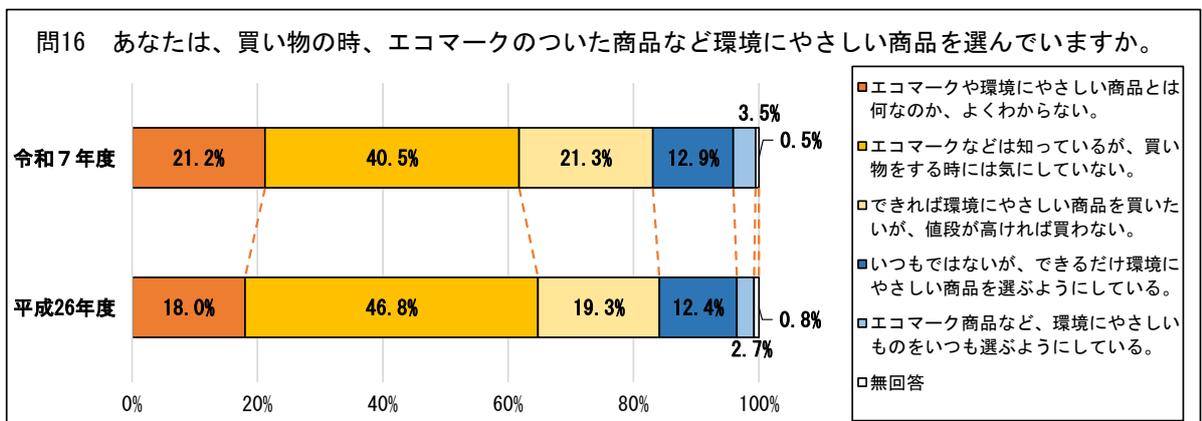


【調査結果の概要】

- ・「買った物を家でレジぶくろから出したあと、ごみ袋として使ってから捨てている」の割合が37.2%で最も多く、次に「買い物の時には自分のかごやバッグを持ち歩き、レジぶくろはなるべくもらわない」が21.1%であった。
- ・前回と比較して、「買った物を家でレジぶくろから出したあと、使わずに捨てている」が2.9%、「買った物を家でレジぶくろから出したあと、ごみ袋として使ってから捨てている」が2.4%、それぞれ増加し、「買った物を家でレジぶくろから出したあと、他のものを入れるなどして使っている」が3.7%、「必要な時はもらうが、いらぬ時はレジぶくろをもらわない」が0.2%、「買い物の時には自分のかごやバッグを持ち歩き、レジぶくろはなるべくもらわない」が1.3%、それぞれ減少した。
- ・全体としては、前回より「買った物を家でレジぶくろから出したあと、使わずに捨てている」と「買った物を家でレジぶくろから出したあと、ごみ袋として使ってから捨てている」の、レジ袋を使用している割合が増加した。
- ・学年別では、小学5年生の方がマイバッグを使用している割合が多かった。

問16 あなたは、買い物の時、エコマークのついた商品など環境にやさしい商品を選んでいますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
エコマークや環境にやさしい商品とは何なのか、よくわからない。	198	21.2	256	18.0	▲ 58	3.2
エコマークなどは知っているが、買い物をする時には気にしていない。	378	40.5	665	46.8	▲ 287	▲ 6.3
できれば環境にやさしい商品を買いたい、値段が高ければ買わない。	199	21.3	275	19.3	▲ 76	2.0
いつもではないが、できるだけ環境にやさしい商品を選ぶようにしている。	120	12.9	176	12.4	▲ 56	0.5
エコマーク商品など、環境にやさしいものをいつも選ぶようにしている。	33	3.5	39	2.7	▲ 6	0.8
無回答	5	0.5	11	0.8	▲ 6	▲ 0.2

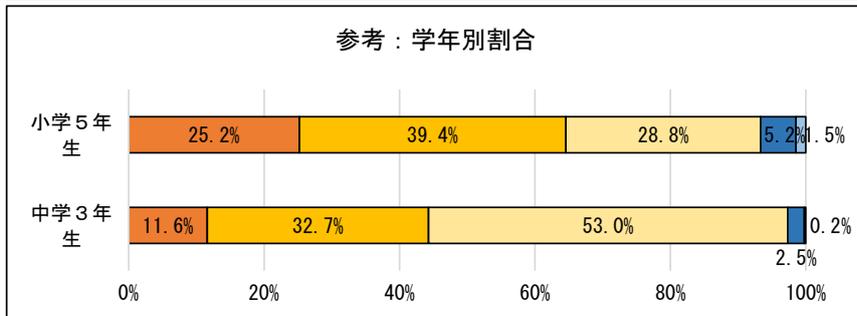
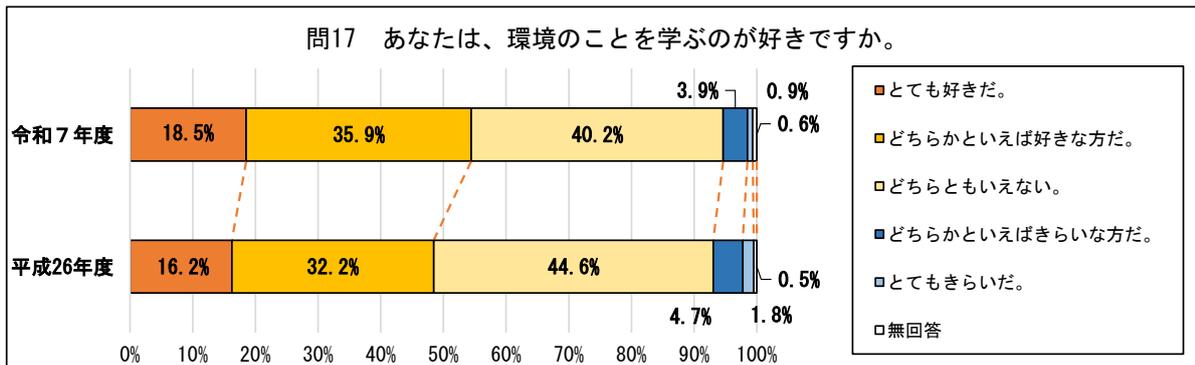


【調査結果の概要】

- ・「エコマークなどは知っているが、買い物をする時には気にしていない」の割合が40.5%で最も多く、続いて、「できれば環境にやさしい商品を買いたい、値段が高ければ買わない」が21.3%、「エコマークや環境にやさしい商品とは何なのか、よくわからない」が21.2%であった。
- ・前回と比較して、「エコマークなどは知っているが、買い物をする時には気にしていない」が6.3%減少し、一方で、「エコマークや環境にやさしい商品とは何なのか、よくわからない」が3.2%、「できれば環境にやさしい商品を買いたい、値段が高ければ買わない」が2.0%、「いつもではないが、できるだけ環境にやさしい商品を選ぶようにしている」が0.5%、「エコマーク商品など、環境にやさしいものをいつも選ぶようにしている」が0.8%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回より「わからない」の割合が多くなったものの、「できれば環境にやさしい商品を買いたい、値段が高ければ買わない」、「いつもではないが、できるだけ環境にやさしい商品を選ぶようにしている」及び「エコマーク商品など、環境にやさしいものをいつも選ぶようにしている」の買いたい、又は選ぶようにしている割合が増加した。
- ・学年別では、いずれの学年も、「わからない」、「気にしていない」の割合が高くなっているが、小学5年生では、「できるだけ選ぶようにしている」と「いつも選ぶようにしている」を合わせた割合が20%以上であった。

問17 あなたは、環境のことを学ぶのが好きですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても好きだ。	173	18.5	231	16.2	▲ 58	2.3
どちらかといえば好きな方だ。	335	35.9	458	32.2	▲ 123	3.7
どちらともいえない。	375	40.2	634	44.6	▲ 259	▲ 4.4
どちらかといえばきらいな方だ。	36	3.9	67	4.7	▲ 31	▲ 0.9
とてもきらいだ。	8	0.9	25	1.8	▲ 17	▲ 0.9
無回答	6	0.6	7	0.5	▲ 1	0.2

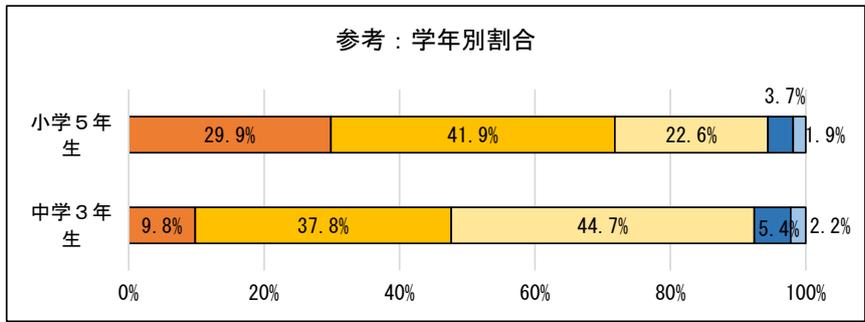
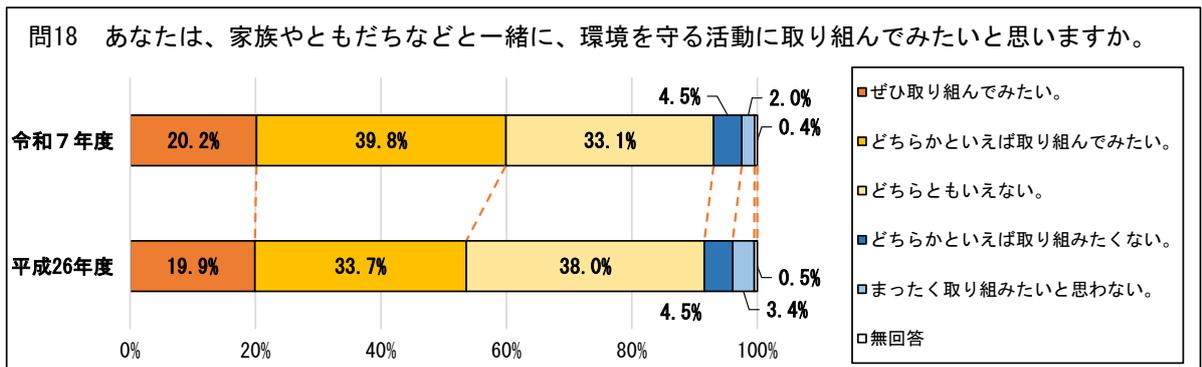


【調査結果の概要】

- ・「どちらともいえない」の割合が40.2%で最も多く、次に「どちらかといえば好きな方だ」が35.9%
- ・前回と比較して、「とても好きだ」が2.3%、「どちらかといえば好きな方だ」が3.7%、それぞれ増加し、「どちらともいえない」が4.4%、「どちらかといえばきらいな方だ」が0.9%、「とてもきらいだ」が0.9%、それぞれ減少した。
- ・全体としては、前回より「とても好きだ」と「どちらかといえば好きな方だ」の好きだという割合が増加した。
- ・学年別では、小学5年生で「とても好きだ」と「どちらかといえば好きな方だ」を合わせた割合が64.6%となり、中学3年生ではその割合が44.3%で、「どちらともいえない」の割合が53.0%であった。

問18 あなたは、家族やともだちなどと一緒に、環境を守る活動に取り組んでみたいと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
ぜひ取り組んでみたい。	188	20.2	283	19.9	▲ 95	0.2
どちらかといえば取り組んでみたい。	371	39.8	479	33.7	▲ 108	6.1
どちらともいえない。	309	33.1	540	38.0	▲ 231	▲ 4.9
どちらかといえば取り組みたくない。	42	4.5	64	4.5	▲ 22	0.0
まったく取り組みたいと思わない。	19	2.0	49	3.4	▲ 30	▲ 1.4
無回答	4	0.4	7	0.5	▲ 3	▲ 0.1



【調査結果の概要】

- ・「どちらかといえば取り組んでみたい」の割合が39.8%で最も多く、次に「どちらともいえない」が33.1%であった。
- ・前回と比較して、「ぜひ取り組んでみたい」が0.2%、「どちらかといえば取り組んでみたい」が6.1%、それぞれ増加し、「どちらともいえない」が4.9%、「まったく取り組みたいと思わない」が1.4%、それぞれ減少した。
- ・全体としては、前回より「ぜひ取り組んでみたい」と「どちらかといえば取り組んでみたい」の取り組んでみたいという割合が増加した。
- ・学年別では、小学5年生で「ぜひ取り組んでみたい」と「どちらかといえば取り組んでみたい」を合わせた割合が71.8%となり、中学3年生ではその割合が47.6%で、「どちらともいえない」の割合が44.7%であった。

登米市の環境についての児童生徒アンケート調査

問19 環境問題、環境行政に関してご意見やご要望がありましたらご記入ください。

分野	主な意見（集約の上、要約）
自然環境	大人が環境を壊している。 河川や湖沼の水が汚れており、水質が気になる。 木や草花はどのように育つのか知りたい。 クマやニホンジカの駆除にもっと力を入れてほしい。 耕作放棄地があることが気になる。 学校や家の周りの自然が減ってきている気がする。 生き物の数が減ってきていると思う。 森林伐採されていることが気になる。 絶滅危惧種が増えている理由が知りたい。 自然環境を観光に活用してほしい。
生活環境	もっとゴミを減らしてほしい。 もっと、しっかりゴミを分別してほしい。 大気汚染や森林破壊、水質汚染が気になる。 畑で草などを燃やしているのが気になる。 ポイ捨てを無くしたい。 道端に、たばこやカップラーメンのカラが捨ててある。 ポイ捨てがあると環境に優しくないと思う。
地球温暖化	地球温暖化が不安である。 地球温暖化がなぜ進んでいるのか知りたい。 草木を増やして地球温暖化を抑えるような取組をしてほしい。
環境意識	もっと地球にやさしくするべきだと思う。 環境にやさしい社会にしたい。 登米市の環境を守らなければいけない。 環境や地球温暖化にしっかり目を向ければ、もっと自分たちにできることを増やすことができると思う。 登米市の環境は、自然が豊かで空気も良いと思う。 もっと自然を豊かにしたい。 登米市の環境が続くようにしてほしい。 植樹してみたい。 環境問題はわかっているのに、なぜ取り組まないのか。
環境情報・環境教育	アンケートで環境のことが少しでもわかった。 環境に関する行事の調べ方を知りたい。 環境問題は、いつ生まれたのか気になる。 環境を学ぶだけでなく、体験できると親近感が湧く。 環境を守る活動に取り組みたい。 環境のことをもっと調べてみたい。 自分たちでもできる環境を守ることを知りたい。 対策のメリット、デメリットを詳しく知りたい。 どうやって森林ができるのか知りたい。 サンクチュアリセンターなどを、もっと活かしてほしい。
その他	空き地を有効活用してほしい。 登米市の都市開発に力を入れてほしい。 もっと発展させてほしい。 自然と建物のバランスをうまく取っていると思う。 山林を開発しすぎだと思う。